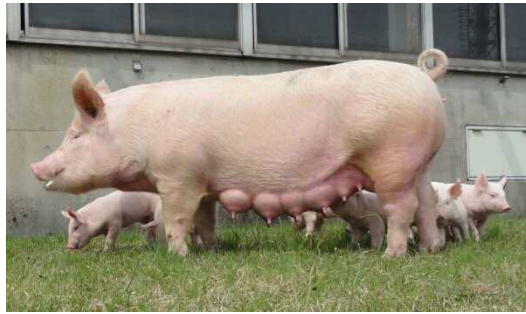




# 養豚王国あいちの明るい未来を担う 系統豚の開発



ランドレース種「アイリスL3」



大ヨークシャー種「アイリスW3」

F1



デュロック種「アイリスナガラ」



三元肉豚の豚肉

三元肉豚

（畜産研究所、畜産研究部開発）

## 背景

肉豚生産に利用される品種は、従来の中型種から、1960年代に大型種の交雑種へと代わり、豚肉の品質や生産性が向上しました。そのため、試験場では、交雑に用いる3種の純粋種豚について、高い産肉能力を持った系統豚の開発に着手しました。

## 成果の内容

試験場では、1979年・1996年にランドレース種「アイリス」・「アイリスL2」を、1988年・2003年・2016年に大ヨークシャー種「アイリスW」・「アイリスW2」・「アイリスW3」を開発しました。また、デュロック種については2006年に岐阜県と共同で「アイリスナガラ」を開発しました。2016年からは、新たなデュロック種の系統造成を開始します。

## 愛知県農業への貢献

現在、県内養豚農家の約7割が、試験場が育成したこれらの系統豚を利用し、高い品質を持った斉一な豚肉を生産しています。

（畜産研究部）